



## 楽しさいっぱい 古本市は貴重な体験の場

先週、開催されたPTA主催の古本市&バザーの会場。朝早くから、PTA役員や係りの方々が準備に奔走され、バザー会場は所せましと多くの品物が並べられていました。今年、会場が変更となった1階の古本市も、子どもたちが見やすく、購入しやすいように工夫されて本が並べられていました。それぞれの購入時間にやってきた子どもたち、今日は持ってきたお金で買い物ができるとあって大張り切りです。25セントが入ったお財布を握り締め、気に入った本探しに夢中です。「どの本にしようか」迷っている慎重派もいれば、



(古本市でのお買い物)

すぐさま2, 3冊見つけてお金の支払い場所に急ぐ子もいて様々です。紙袋に入れてもらって幼稚園や低学年の子どもたちは、満足そうでした。古本市は、一人で買い物をする貴重な体験の場となりました。小学1年生の教室では、早速、買って来たばかりの本を机の上に並べ、笑顔を浮かべ、少しの時間、先生と一緒に本を読んでいました。東日本大震災のチャリティーとして開催されたこの古本市&バザーの収益金は、被災地支援に義援金として使われます。準備下さったPTA役員や係りの方々・クラスペアレントの皆様方、お疲れ様でした。

この大震災の被災地支援にかかわって、この日は、中学部で6時間目に提嶋PTA会長から、



生徒たち向けに「被災地に入って」との特別講話がありました。3ヶ月たった被災地石巻市に入られた時の生々しい様子をスクリーンの映像に写しながら、詳しくお話いただきました。聞いている子どもたちも真剣に、じっと聞き入っていました。生徒会では、石巻市の被災地支援に向け「寄せ書き作り」の具体案を本日の全校朝礼で紹介します。被災地の様子を学んだ中学生

(話聞き入る中学生) たち、「寄せ書き」に書く思いも一層強くなったのではないのでしょうか。先の臨時総会での特別報告に引き続き、提嶋PTA会長にはお世話をおかけいたしました。ありがとうございました。

### ◎通知表の改善点について

さて、いよいよ来週(10月1日)をもって、前期の教育課程が終了します。この日には、前期の学習や生活の様子を通知表にしてお渡しします。今年の通知表の新たな特色は、①小学部でスタートした新教育課程で重視されている言語活動と ②本校が重視している読書推進活動を評価の観点に取り入れたことです。相手にわかりやすいように意見を述べ合っているだろうか。読書への関心はどうだろうか。話の順序や場面の様子などに気づきながら読めているだろうか、等々、評価の観点を広げながら、学習評価をしています。通知表は、来週担任から手渡しです。